

## 国際センター所蔵本が好評 県立大松江 図書館貸し出し



書籍に目を通す学生ら

松江

県立大松江キャンパス図書館(松江市浜乃木7丁目)が、しまね国際センター(同市東津田町)が所蔵する書籍60冊を貸し出し、学生らに好評だ。国同士の経済協力や外国語会話など国際色豊かな書籍が、海外に目を向ける利用者のニーズにこたえている。

外国人向けの日本語教室やポランティアで通訳をこなす同センターが、活動を知ってもらおうと同図書館に打診し、借り受ける形で実現した。外部から書籍を借りるのは初めてという。

日本の政治や行政の仕組みを簡易な英文で伝える解説本をはじめ、中国語やポルトガル語による日常会話

集、人気漫画「ゴルゴ13」の主人公デューク東郷が、海外で活躍するビジネスマン向けの安全対策をまとめた指南書などをそろえた。出入口に専用コーナーを設けた。11日まで。日本と東南アジアの経済協力に関心がある総合文化学科2年の金津理子さん(19)は「日常風景を外国語でどう表現するのかを気軽に学べる」と話した。同図書館は今後も外部団体から書籍を借り入れるとしている。

(古和隆宏)

# 県立大松江に新図書館

## 19年度利用開始 閲覧スペース拡張

県立大松江キャンパス（松江市浜乃木7丁目）が四年制の人間文化学部創設に合わせて、新図書館の整備に乗りだした。既に着工



新図書館（手前）の完成予想図（県立大提供）

しており、2019年度初めの利用開始を予定している。閲覧スペースを大幅に拡張し、利便性を高める。一般貸し出しは原則、受け付けないが、館内での閲覧は手続きなしでできる。

新図書館は、現在地より南西に約30メートル離れた職員用駐車場に設ける。床面積は現在の約3割増しとなる1689平方メートルに拡充。閲覧スペースを広げ、閲覧用座席を40席増の120席程度とする。地下室は設けず、全蔵書を1階で読めるようにする。蔵書数は12万冊を予定している。

外観は既存の建物と調和させるため、屋根に赤い石

州瓦を採用する。新図書館の完成に伴い、現在の図書館は食堂兼ラウンジに作り替える。総事業費は約6億6千万円。

柴田政樹事務室長は「豊富な文献を一般利用者にも見てもらいたい」と話した。

（古和隆宏）

## 島根県立大3キャンパス

# 就職内定率96～100%

島根県立大が14日、20

17年度卒業生の就職内定率を発表した。3キャンパスともに96～100%の高水準で、課題とする浜田キャンパスの総合政策学部

る。

総合政策学部の全体の就職内定率は、前年度比1・9%増の96・1%。短大部の松江キャンパスは、総合文化学科が同0・7%増の96・6%、健康栄養、保育の両学科は前年度と同じ100%で、出雲キャンパスの看護学部も前年度と同じ100%だった。県内就職内定率は、総合文化学科が68・8%、健康栄養学科60

・0%、保育学科75・0%、看護学部は50・0%。

総合政策学部は、県内出身者の県内就職内定率が前年度より17・2%上昇した。会見で、同大の久保田典男・キャリアセンター長は「地域に密着した講義やゼミ研究を進めたのが影響した可能性がある」と話した。

清原学長は「まず、県内出身者の入学割合を増やす。学生へのキャリア教育、地元の経済団体へのトップセールスで、県内企業と学生の相互の理解を進める」とし、さらに県内就職内定率を高める意向を示した。

(鎌田剛)